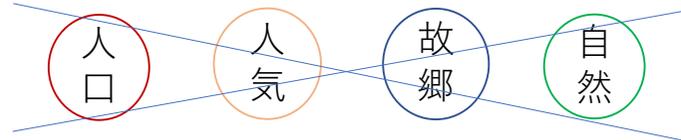


チーム名	たまこぼっち	大学名・学部	玉川大学	福島復興ステージ
プラン名称	Endlesky ～どこまでも続くあおぞら～			
テーマ	復興に向け前向きに取り組んでいる方と連携した「観光まちづくり」			双葉町 大熊町
リーダー名	今野 海里	メンバー名	渡部沙織 佐藤芽依 寺井みく	
指導教職員名	小林 等先生			

現状の問題認識

2011年3月11日に起こった東日本大震災とそれに伴い発生した福島第一原子力発電所の事故により・・・

- ・風評被害
- ・人口が少なく若者がいない
- ・山や海などの自然への立ち入り禁止（観光地不足）



プラス面	マイナス面
人が温かい	雑草が生い茂っている
空気が澄んでいる	交通の便が悪い
施設が新設できれい	生活音などの人の気配がない
ご飯がおいしい	退廃的な雰囲気
広い土地がある	
衣食住が全て揃った商業施設がある	

解決すべき問題点

アンケート調査の結果・・・

- 1, 目的がない、費用がかかる
- 2, その地ならではのグルメ
- 3, 魅力的な観光地であるか が重要である。



私たちの考える理想の姿

人口や観光客、新しい企業の増加を測り、賑やかな町にすることで活気を取り戻す。

プロジェクト概要 ～Endlesky～

1, 気球

広い土地を生き、海や山を一望できる熱気球を飛ばす。色鮮やかな気球は町全体を明るく彩る。明け方に非日常的な解放感を得られる。

気球 × 宣伝

「アドバルーン」の発想を取り入れ、垂れ幕を付けて飛ばす。垂れ幕には、協賛企業の「大熊・双葉」と関連付けた宣伝広告を使用することで、スポンサーを獲得する。

2, フェス

様々な層に刺さるフェスを開催

- ・音楽フェス
- ・なみえ焼そばB級グルメフェス
- ・各地日本酒飲み比べフェス
- ・ご当地スイーツフェス（おおくまベリー等）
- ・ご当地ゆるキャラ大集合フェス

フェス × 気軽

グルメフェスなどの出店したお店を回る形式のフェスで、移動式のシステムを取り入れる。店側が家の前や職場の近くまで赴くことで、気合を入れなくても気軽に参加し楽しむことができる。

3. あおぞら音楽室

使わなくなった楽器（個人の所有物、廃校の物など）を全国各地から寄贈してもらう。寄贈の際はその楽器にまつわる思い出などをネームプレートに添えて書く。

ストリートピアノ × 交流

利用者はInstagramでハッシュタグをつけて投稿。それによって元の持ち主と繋がり、コミュニティを形成。

ストリートピアノ × ライブ配信

常時ライブ配信。誰でも簡単に弾き手にも聞き手にもなれる。

アンケート調査から浮かび上がった課題の解決

- ①目的がない
⇒プラン1,2,3
費用がかかる
⇒プラン3
「あおぞら音楽室」
- ②その地ならではのグルメ
⇒プラン2「グルメフェス」
- ③魅力的な観光地
⇒プラン1,3「気球」
「あおぞら音楽室」

資金調達

	プラン1	プラン2	プラン3
資金源	協賛金	協賛金	協賛金

大熊町と双葉町がどうなるか

- ・人の交流が増える
- ・スポンサーがつく
- ・笑顔が増える
- ・おいしいものや非日常を体験できる
- ・音楽でにぎやかな街になる